

【今週号の主な内容】

■ 《先週・今週の報道発表》

今週の報道発表は特にごさいません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PT WG1 開催のお知らせ

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. リサイクルP推進協 28年度総会開催、港湾核に循環型社会構築
2. 低レベルの汚染土を公共工事で再利用、実証試験へ
3. 須崎港の長期構想検討委員会開催、大水深係留機能など

-----  
《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PT WG1の開催について

下記日時にて開催致します。

日時：平成28年6月21日（火）13:30～14:30

場所：みなと総研 3階 会議室

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. リサイクルP推進協 28年度総会開催、港湾核に循環型社会構築

リサイクルポート推進協議会（会長・米田徹糸魚川市長）は6月6日、東京都品川区の第一ホテル東京シーフォートにおいて平成28年度総会を開催した。新規会員の承認や27年度活動報告、28年度活動計画（案）、歳入歳出予算（案）など所定議案について審議し、いずれも原案通り承認した。来賓として津田国土交通省大臣官房技術参事官、佐々木港湾局海洋・環境課長が出席した。総会の前には、正岡港湾局技術監理室技術基準審査官が「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」の改訂について、のテーマで講演した。

総会開会にあたって米田会長は、「当協議会は平成15年4月設立以来、港湾を核とした静脈物流システムの事業化に向けた活動を展開してきている。そして東日本大震災以降は、大規模災害廃棄物の広域処理などについても取組み、被災地の速やかな復旧・復興を担ってきている。こうした取組が評価され昨年9月、環境省が中心になって発足したD. Waste-Net（災害廃棄物処理支援ネットワーク）に参画させて頂き活動を進めている。当協議会の取組が循環資源物流の利用促進に結び付き、循環型社会形成推進の一助となることは大きな喜び」と挨拶した。

次いで来賓の津田技術参事官が、「大規模災害発生時における災害廃棄物の広域処理に関して、海上輸送を活用した取組がなされている。これはまさしく当協議会の活動と関係者の皆様の協力のお陰。循環型社会の形成においては、今後とも港湾等を通じた広域輸送や全国ネットワークの活用が重要であり、当協議会が更に活躍されることに期待している」と祝辞を述べた。【港湾空港タイムス】

-----

2. 低レベルの汚染土を公共工事で再利用、実証試験へ

環境省は6月7日、東京電力福島第1原発事故に伴う除染廃棄物の再利用についての有識者検討会を開催し、放射濃度が基準以下となった汚染土を公共工事で再利用するための基本方針をまとめた。

道路や防潮堤などの基盤部分に限定し、上に汚染されていない土砂やアスファルトで覆うことを考えている。今夏、福島県南相馬市内で道路の基盤材として利用する実証試験を行う予定。【港湾空港タイムス】

### 3. 須崎港の長期構想検討委員会開催、大水深係留機能など

高知県は6月2日、須崎港の次期改訂港湾計画づくりに向けた検討会を開催した。28年度「須崎港長期構想検討委員会・幹事合同委員会」の第1回会合を持ち、須野原・日本港湾協会理事長を委員長に選任するとともに、長期構想づくりの検討に入った。今後2～3回の検討会を開いて年度内に長期構想をまとめると共に、29年度の港湾計画改訂に向けて作業を進めていく。①物流機能の強化、②南海トラフ地震発生懸念に対応する防災面の強化、③クルーズ船の受入やみなとオアシス登録を見込んだ交流機能の充実、の3政策を柱に取りまとめる方針。

須崎港は背後に良質な石灰石が産出されていることから国内大手製鐵所への石灰石の移出が旺盛であるほか、立地している住友大阪セメントの石炭輸入やセメント製品の輸出需要が拡大している。ただ現状はセメント輸出を担っている水深マイナス9mの公共岸壁と石炭を受入れている水深7・5mの専用バースに限られており、船舶の大型化に対応できる係留施設が求められている。水深13m級の大水深バースなどを念頭に、ゾーニングや施設計画が検討される見込み。【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司	新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣	五洋建設（株）
木村 竜也	東京都
梅木 重光	（株）酒田港リサイクル産業センター
紫牟田 和隆	光和精鉱（株）
新谷 聡	りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####